

第7回インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンスで日本の国土を守る



新たに内閣総理大臣賞・環境大臣賞を創設!

インフラメンテナンス大賞とは

日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に実施するものです。

令和5年6月30日(金)締切

エントリーはWEBから

インフラメンテナンス大賞



【写真提供】 山崎エリナ (やまさき・えりな)

写真家 兵庫県神戸市出身。パリを拠点に3年間の写真活動に専念する。40カ国以上を旅して撮影を続け、エッセイを執筆。2018~2022年は「山崎エリナ写真展 インフラメンテナンス」を福島、新潟、大阪、東京ビッグサイト(社会インフラテック)など全国各地で開催。

橋梁、トンネル、道路のメンテナンス現場を撮影した写真による広報活動は、第3回インフラメンテナンス大賞 優秀賞を受賞。

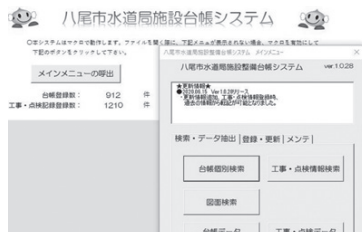
2022年度にはこれまでの取り組みの成果が評価され、土木学会のインフラメンテナンス 特別賞を受賞。

写真集に『インフラメンテナンス』、『Civil Engineers』、『トンネル誕生』、『鉄に生きる』、『アクアライン』、『ローカルゼネコンの素顔』などがある。

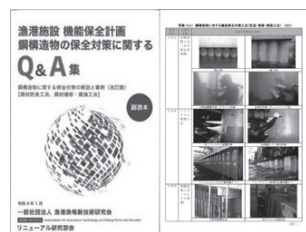
【写真】 寿建設株式会社 トンネル補修や道路メンテナンスを得意とする建設会社。第3回インフラメンテナンス大賞優秀賞を受賞。

主催／総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省

第6回「インフラメンテナンス大賞」大臣賞受賞案件



厚生労働大臣賞
Excelを活用した直営での水道施設台帳システムの運用方法
八尾市水道局 施設整備課



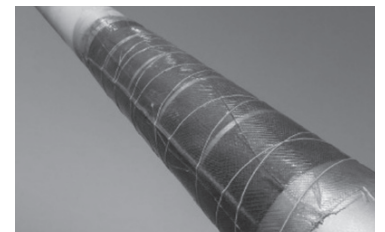
農林水産大臣賞
地方公共団体を支援する漁港漁場施設の維持管理ガイドラインの作成・普及
一般社団法人 漁港漁場新技術研究会



農林水産大臣賞
パネル被覆工法「ストバネ工法」による腐食鋼板水路の補修・迅速再生技術の開発
藤村クレスト株式会社



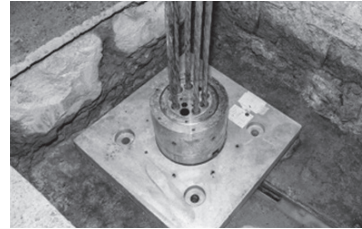
経済産業大臣賞
担い手不足の社会に対応した都市ガス供給用ガバナのメンテナンス効率化
大阪ガスネットワーク株式会社



経済産業大臣賞
送電用鋼管鉄塔の部材腐食に伴う現場VaRTM工法によるCFRP補修技術の開発
東京電力パワーグリッド株式会社



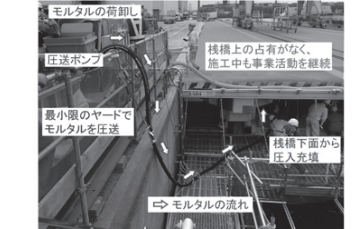
防衛大臣賞
BSC工法を活用した演習場内道路法面等の保全
日本工営株式会社



国土交通大臣賞
文化財に指定されたダム の 堤体PSアンカー工法による耐震補強工事
松江市上下水道局



国土交通大臣賞
高校生との協働による道路インフラメンテナンスの取組
岩手県県土整備部道路環境課



国土交通大臣賞
圧入施工が可能な超高耐久性モルタルによる補修技術(スリムフローグラウト工法)の開発
株式会社大林組



第6回の大賞、特別賞、優秀賞の各案件はこちらからご覧いただけます。

募集要項

趣旨

国民生活やあらゆる社会経済活動は、道路・鉄道・港湾・空港・電力・ガス等の産業基盤や上下水道・公園・学校等の生活基盤、治山治水といった国土保全のための基盤、その他の国土、都市や農山漁村を形成するインフラによって支えられています。

これらのインフラの老朽化が今後も進行していく中で、インフラによってもたらされる我が国の活力や生活、環境、景観、安全・安心の機能を維持していくためには、インフラのメンテナンスに国全体で取り組む必要があります。

この表彰は、我が国のインフラが直面する老朽化やその対策に必要な担い手不足の問題に対応して、インフラメンテナンスの現場における工夫やメンテナンスを支える活動、インフラメンテナンスの効果的・効率的な実施を実現した研究・技術開発の優れた成果を収めた取組の関係者を表彰するものです。

表彰の対象

以下のア～ウの3つの部門において、日本国内のインフラメンテナンスに係る優れた効果・実績を挙げた取組や技術開発を行った者(個人及び施設管理者・企業・団体等の活動グループ)

ア メンテナンス実施現場における工夫部門

施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫(ウに該当するものを除く)

イ メンテナンスを支える活動部門

アの取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動(ウに該当するものを除く)

ウ 技術開発部門

調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法(点検・診断技術、モニタリング技術を含む)、材料・製品、機械、維持管理データ管理におけるインフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

表彰の種類

- 内閣総理大臣賞(全部門から1件)
- 総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、防衛大臣賞(原則各省別の部門ごとに1件、計24件)
- 情報通信技術の優れた活用に関する総務大臣賞(1件)
- 特別賞(8件以内)
- 優秀賞(特別賞と合わせて最大32件程度)

応募期間

令和5年4月25日(火)から6月30日(金)
※応募期間中にWEBフォームでの提出を完了してください。

受賞者の発表

受賞者の発表は令和5年冬頃を予定しています。受賞者及び受賞内容については、連絡担当者あてに通知します。
※受賞者に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って公表します。

応募方法

応募はWEBフォームからの受付のみとなります。

[WEBフォームよりエントリー]

WEBフォーム上にて応募者情報の登録及び応募書類のアップロードをお願いします。以下のホームページよりログインの上、作成した応募書類をフォーム上にてアップロードしてください。

ホームページ: <https://www.im-award-form.jp/>



お問合せ先

国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課 インフラメンテナンス大賞担当
電話番号:03-5253-8912 メールアドレス:hqt-taisho@gxb.mlit.go.jp